

**○ 草の根協力支援型**

**2017年度第2回 採択内定案件**

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 対象国名	インドネシア
2. 事業名	西バブア州ピントゥ二県における保健スタッフの人材育成を通じた女性の健康改善プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	先のピントゥ二県立病院との共同調査で、この地域における女性（15～49歳）の73%が貧血であることが明らかになった。貧血は妊産婦死亡の主な要因の1つである。西バブア州の妊産婦死亡率（2013）は461/出生10万対で、これはインドネシア全国平均の約4倍、世界平均の約2倍である。貧血の女性が多いことが、この地域における高い妊産婦死亡率につながっている可能性がある。また、貧血の妊婦は低体重児を出産するリスクや早産のリスクが高くなるため、健康な次世代の育成という視点からみても、この地域における女性の貧血の改善は喫緊の課題である。しかしながら、貧血の原因が明らかでないため、予防・改善対策がされていない。このような状況から、ピントゥ二県立病院と共同で貧血の原因調査、住民（特に女性と学童期の子ども）に対する健康教育、および保健スタッフの人材育成を行い、この地域の課題解決を目指す。
4. プロジェクト目標	対象地域において、貧血や栄養に関する知識を身につけ、貧血改善のためのアクションを取る女性が増える。
5. 対象地域及び管轄する領事館	西バブア州トゥルク・ピントゥ二県ピントゥ二地区およびマニメリ地区
6. 本事業の対象となる人々	直接裨益者：対象地域の出産可能年齢（15～49歳）の女性約7000人、地域保健従事者 間接裨益者：対象女性の家族、子ども（約5900世帯、2.8万人（男性1.6万人、女性1.2万人））
7. 事業活動	<活動> 1-1. 調査により貧血の原因を明らかにする。 1-2. 調査結果をもとに、貧血改善の介入プログラムを構築する。 2-1. 現地保健スタッフを対象に本邦研修を実施し、能力強化を行う（日本の医療現場、地域保健活動（乳幼児健診、妊産婦健診、栄養教室、保健指導等）、学校における健康保健教育などの視察）。 3-1. 住民に対する健康教育プログラムを作成し、実施する。
8. 実施期間	2018年11月～2021年11月（3年0ヵ月）
9. 事業費概算額	10,799千円
10. 事業の実施体制	群馬大学より専門家を派遣し、トゥルク・ピントゥ二県立病院と協力してプロジェクトを実施する。
<b>II. 提案団体の概要</b>	
1. 団体名	国立大学法人群馬大学
2. 活動内容	高等教育、保健医療分野の人材育成、調査研究、地域・国際貢献に関わる事業